

【教育目標】

○自ら考え正しく判断できる生徒 ○心豊かで最後までやり抜く生徒 ○健康で活力ある生徒

福島県南相馬市立原町第一中学校

原一中だより

第 4 号 令和4年7月20日（水）発行

令和4年度 重点目標

互いに助け合い 高め合える生徒

1 学期終業式にて

1学期が今日で終了しました。学校生活にはいくつかの大きな節目がありますが、本日、その節目となる終業式を実施しました。新型コロナウイルス感染症が相馬地方においても猛威を振るう中でしたので、感染防止のため、オンラインで実施しました。



式辞として、終業式で話したのは、主に2つの内容です。

ひとつは、「失敗を恐れず、挑戦してほしい」ということです。『有能な者は行動するが、無能な者は講釈ばかりする』という、イギリスの劇作家や評論家としても有名なジョージ・バーナード・ショーの言葉を引用し、成長につながる挑戦を休み中も積み重ねてほしいと伝えました。

もうひとつは、「立派な生き方とは何か」という話です。進学校で有名な「ラ・サール学園」の生徒手帳には「ラ・サール生のつとめ」という学校の憲法のようなものがあり、『人間には大きく分けて2通りの生き方がある。自分のことで頭がいっぱいになってしまいう生き方と、他人と助け合って自分を広げていく生き方である。使命感を持ち、自分の学問や職業、生活を通して段々と実らせていける人は、最も立派な生き方をしていると言える』という内容を引用し、礼儀やあいさつ、本校の重点目標等とも関連させながら、自分も他の人も、心豊かに幸せに生きることについて話しました。ご家庭においても話題にさせていただけると幸いです。

原一中生 文武において躍動 全国大会・東北大会へ出場！

◆祝！ 全国大会出場◆

◎NHK杯全国中学校放送コンテスト
福島県大会 アナウンス部門金賞
ラジオ番組部門銅賞

◎全国中学生ビーチバレーボール選手権大会福島県大会 女子の部第1位

6月28日に審査が行われたNHK杯全国中学校放送コンテスト福島県大会において、アナウンス部門で2年生の遠藤みなみさんが見事に金賞を、ラジオ番組部門で3年生の小林さんと後藤さんが共同で制作した作品が銅賞を受賞し、8月に行われる全国大会へ出場することになりました。

また、7月10日に行われた全国中学生ビーチバレーボール選手権大会福島県大会に出場した3年生の佐藤さんと太田さんは、見事第1位となり、8月下旬に愛知県で行われる全国大会に出場することとなりました。

これら上記の活躍については、本日も午後1時から、南相馬市役所において生徒及び担当者が同席し、南相馬市教育委員会教育長に報告してきました。

◎県中体連陸上男子200mで2位入賞！

福島県中体連陸上競技大会が、7月5日～7日（木）にかけて、福島市とうほう・みんなのスタジアム（県営あづま陸上競技場）で行われました。昨年は2年男子100mに出場し、3位だった3年生の小川くんは、さらに力を向上させ、男子共通200mにおいて見事2位に入る活躍を見せました。記録は23秒16で、全国大会参加標準記録22秒75まであと少しという好記録での入賞でした。7月下旬に開催される全日本中学校通信陸上競技福島大会での記録更新を期待したいと思います。また、8月には青森県青森市で東北大会が開催されますので、上位入賞できるよう健闘を祈ります。